

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		介護計画を作成することにより入居者が必要とする適切なサービスの提供します。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		食事、入浴、排泄などの日常生活の機能訓練を行うことにより安心した生活が送れるように援助していきます。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		当ホームでは敬老会などの行事には出席していただいています。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		今まで通り気軽に立ち寄っていただければと思っています。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		地域の方より旅行のお土産や新鮮な野菜を頂き感謝しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方が見学などにいらした際に自宅で高齢者を抱えている方、または現在自宅での介護に困っている方の相談に乗ってあげています。		入所とは別に困ったことがあったらいつでも相談に気軽においでくださるように伝えています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	入居者に快適な生活を過ごしていただけるように健康面にも留意して個々の状態を把握していき評価すべき点を改めて把握し当ホームのサービスに取り組んでいます。		毎朝ミーティング時皆さんの意見を出してもらい改善に向けています。今回の外部評価の結果が届いたら更にこれを参考に取り組む予定です。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の方にも参加を促すが日時が上手く調整出来ず少数での会議となることが多い。		集会時には地域の情報等を聞かして頂き近隣の皆様との交流を深めていきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の相談員の受け入れを始めとし市の会議にも必ず出席、また、解らないときは直接相談をさせて頂いています。		今後も電話や直接窓口に出向いたり交流を図っていきます。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	本人、家族に相談を受けた場合は必要な限り協力し支援しています。		現在既に取り組んでおり今後も同様に支援していきます。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市から配布された虐待防止のテキストを全職員が確認しどのような状態の入居者の方であっても決してしてはならないと言う事を常に話し合っています。		現在まで当ホームでは一度もなかったが今後も決してないように努めています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に家族、本人に当ホームを見学していただき理解をしていただく。入居時には十分な説明を行っています。		納得いくまで説明し本人、家族にも納得していただいたら入所していただく。いつでもわからない時は相談をしていただいています。
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情、相談箱を設けていると同時に家族の面会時には遠慮なく意見を言うていただく。又ホーム以外に苦情申し立てが出来る事を伝えてあります。		入居時は今まで通り苦情申し立てが市や国保連等に出来る事を伝えてあります。
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には必ず近況報告をしており面会に来れない方にも電話などで状況を報告しています。		少しの変化においても家族に連絡をとっている。 金銭管理は家族にお願いしています。
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	気楽に何でも話して下さるように入所時に説明済み、ホーム以外の苦情受付があることを詳しく説明を行っています。		苦情ボックスの設置、市、国保連等での苦情受付を説明済み。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回職員ミーティングを行って施行しています。		職員に十分意見交換をさせる時間を設け良い提案はすぐ反映しています。
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日勤時間帯に出来るだけ多く人員確保しています。		職員全員が入居者の状態を把握し家族の方との対応もスムーズに行っています。
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の入替わりが少なく入居者や家族の方に安心されています。		よほどの家庭の事情でない限り離職する人はいません。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回のミーティングにおいて必ず勉強会を開いています。		問題観察記録用紙を事前に渡しミーティング時に各個人が発表し話し合いを行っています、また研修等の参加を促しています。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会等に参加時意見交換等を行っています。		電話や文章などで連絡をとりあっています。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	パートの人たちが多く勤務日数がほどほどなので不満などたまっていないように見える。		何事もオープンに話し合っています。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	事務的な残業ではなく働きやすい職場になるようにつとめ、給与にも反映するようにしています。		入居者と職員が過ごしやすい環境になり、職員の意見をとりいれながらやる気を出していただいています。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居者とゆっくり話し合う時間を持っています。		話しやすい雰囲気を作り出すように努力しています。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	遠慮なく意見を出していただき相談にのっています。		納得するまで何度でも話を伺い安心していただいています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームに適用するかどうかを良く見極めながら対応しています。		相談を受けた際その方に合ったサービスも頭に入れながら支援しています。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	希望があれば何度か訪問してホームに馴染んでいただきお試し入所を行った上で入所に至る機会を設けています。		今後も入居者、家族と話し合いながら希望に添って支援していきます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者は人生の先輩でもあり職員の知らないことなど日々の中で学び得ることも多々あり尊敬の念を持ちながら日々接しています。		草花の名前や野菜の収穫方法等、入居者から教えてもらう事も多く、入居者も生き生きとした表情をされています。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方がいらした時は事務所にて近況報告をしている。又訪問されない場合は電話報告をしています。		今後もすべて相談して何事においても報告していきます。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者、家族との関係が良くない方も第三者が間に入ることでスムーズに話し合いができています。		トラブルがあっても、和解して生活していけるように支援していきます。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者や家族と以前関係のあった方も面会にきて下さったり遠方の方からは電話がきたりしています。		今後も自由に面会や電話のやりとりを継続していきたいと思っています。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	当ホームは2ユニットあるが顔なじみの入居者もいるので、ユニットを入居者に自由に行き来できるようにしています。		入居者同士の関係は現在良い状態にあるのでこれからもこの関係を築いていきたいと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	何事においても報告して相談しています。		今後も現状維持の継続をしています。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者が安心して生活出来るように出来る限り本人の希望に添えるよう話し合いを持ちその都度職員へ申し伝えていきます。		個々の見守りを大切にしてゆき変化があれば職員に伝え共に生活していただくようにしています。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴が個々のより違うのでなるべくその方にあった生活がしていけるように支援していきます。		長年の生活歴を変えるのは困難な場合もあるけど出来るだけ満足していただけるよう支援していきます。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者一人一人にあった方法で充実した過ごし方が出来るように見守り支援しています。強制はしないようにしています。		自由に伸び伸びと生活していただきたい。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員における反省や改善計画を基に入居者への気付きやどのようにしたら本人の生活が充実したものになるかプランに役立てています。		その方にあった介護計画を立てて生活出来るように支援しています。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の変化を把握して大きな変化があれば個々の見直しをしています。		日々の変化と共に見直しを行いケアプランの作成を行う。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録を毎日個人ごとに記録しています。		生活を基にケアプランの変更をしています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の入居者に対する希望は出来るだけ行っている。訪問時の食事や宿泊も希望があれば受け入れています。		皆さん喜んでいるので今後も継続していきます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	当ホームにボランティアの人たちが来て下さっています。(チェロ、ハーモニカ)		入居者の皆さんも喜んで来るのを楽しみに待っています。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	とてもよい事だと思うけれど当ホームではまだ受け入れてはいません。		今後検討していきたいと思っています。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	とてもよい事だと思うけれど当ホームではまだ受け入れてはいません。		今後検討していきたいと思っています。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望は受け入れ都合がつかない場合はこちら側が責任を持って受診同行し家族の希望があれば同伴していただいています。		通常受診は今まで通り行います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医が専門医です。		その都度受診したり指導を受けています。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設長が看護師です。		個人個人の状態を日々把握しています。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	家族希望時には入院して頂いています。		具合が回復時には当施設に帰ってこられています。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	具合悪化時の時などに事前に家族とよく話し合い方針を決めておき、主治医にも報告し協力を得ています。		主治医の協力が得られるため御家族の希望を確認しながら柔軟性をもって対応しています。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医が専門医である、具合悪化時などに事前に家族とよく話し合い主治医にも報告し協力を得ています。		家族で入院は絶対にさせられないとの事情で当施設で主治医に往診していただく事もあります。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族に希望により別の場所へ移る際は家族、本人と十分に話し合いを持ち、入居者にとってより良い生活が保持できるよう支援しています。		家族と本人が納得されてする事には口出しは出来ないの で家族におまかせしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員はは守秘義務を徹底している。個人個人に対し節度ある言葉かけの対応をしております。	入居者に対して親近感もあり名前にちゃん付けをしてしまう癖があるので必ず、さんをつけるように指導しています。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者の意見を聞き話し合い、出来るだけ本人の希望に添えるよう支援しています。	入居者が残存能力を生かしながら意欲を持って生活できるよう今後も手助けしていきます。
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の一人一人のペースを大切に、スタッフは見守り日々出来る限り自立支援を行っています。	入居者のペースをこれからも大切に家庭的な環境の中でゆっくりと日常生活を送っていただきたいと思っています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者が望む時に美容室や床屋へ自由に行けるよう職員が同伴します。	今後も希望時には同伴する。、本人はとても満足気味である。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物へ一緒に行き食べ物を選び考え、出来る限りのことは手伝っていただいています。	本人の残存能力を十分に生かした支援を今後もしていきます。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	当ホームは禁煙、年1回の敬老会には家族も来て下さるのでビールは自由に飲んでいただいています。	入居者、家族皆楽しみにしています、夏には入居者の希望によりアイスクリームも食べています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者の一般状態に合わせその方の動作や表情をよく観察しトイレでの自立排泄へ向け適切なトイレ誘導を心がけています。		今後も一般状態の継続とトイレでの排泄が継続で出来るよう見守り支援していきます。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者のペースに合わせてゆっくり入浴していただけるようスタッフは見守りをして、出来ない所を手助けしていますが時間は決めています。		入居者によっては夏の間脱衣所の温度を低く希望する方がいるが健康面を考え適度な温度調節を保つよう気配りをしています。入居者により職員に見られたくない方もいるので、そういう時はなるべく入浴しないよう心がけている。(肺結核手術後の方)
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安眠できるように快適な温度調節に努めています。		夜勤者が巡視時に各居室を見回っています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者個人個人が充実した生活が出来るよう生活歴を良く知り得た上で残存能力を生かし、本人の日々の向上、生きがいのある生活を送れるよう努めています。		畑仕事に生きがいを感じている方がおり早朝より畑へ出て草むしりや野菜の収穫をしている。他昔の趣味を生かしている方も多くいます。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員と買物へ行く時は見守り支払をする入居者もいる一方、金銭管理が困難な入居者がいるのも事実である。		出来るだけ多くの入居者が金銭管理が出来るようになり金を所持し、使えるようゲームを取り入れ練習していきたいと思っています。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物時入居者の希望時には職員が見守りのもと外出するようにしております。又事前に計画をし外出にも出かけております。		今は日中暑い為外への散歩は多少の制限はあるものの入居者の体調管理に留意しながら希望をかなえていきたいと思っています。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	事前に計画を立て外出へ出かけた時、必要なものは入居者と買物へ行き選び買って来てもらうようにしています。		入居者からの行きたい場所等の意見がもっと増えたら良いと感じています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望される入居者にはいつでも自由にかかけられる事を日常的に伝えており、希望時には電話の使用をしています。		今後も自由に連絡をとりあっていただきたいと思います。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつ来ていただいても家庭的で良いと言っただき感謝しています。毎日職員一同が明るく笑顔で働いています。		いつどなたがいらしても明るい雰囲気だと言っただけよう、職員一同日々向上していけるよう良いと思った事は各自が生活の中に取り入れています。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者を束縛することなくのびのびとした生活を送っていただく。		身体拘束は絶対しません。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外でのお茶時においては開放するがそれ以外はオートロックで外部からしか入れない。以前徘徊により行方不明になった事もあり注意が必要である。		必要に応じて可能な方は自由に入出入りしていただいています。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者と共に生活する中で見守り支援しながら安全面に留意しています。		見守り支援していく中で本人のプライバシーを傷つけないよう配慮しています。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	必要な物は置いてあるが入居者によっては危険な場合もあるので職員が見守りその都度物をどかしたりしています。		危険防止第一に考えています。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	毎朝ミーティング時事故が起こらないよう職員の気配り、目配りの徹底をしています。		月1回のミーティング時に勉強会をしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ミーティング時に急変時や応急手当の勉強をしています。		ミーティング時に急変時や応急手当の勉強をしています。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を行っています。		避難訓練の実施、消防署へ依頼して指導していただく予定です。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時の説明。入居者の一般状態に応じ家族への連絡と説明。リスクについての近況を報告しています。		何事においても直ぐに家族に連絡しています。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	月2回のバイタル確認、体重測定施行		月2回のバイタル確認、体重測定施行
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が必ず見守りをして服薬確認しています。		誤薬には十分に注意、指導しています。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜を多く使用した食事メニュー、水分摂取等、午前午後のラジオ体操、居室掃除等によって日常的に身体を動かしてもらえよう支援しています。		薬の影響にて便秘になりがちの方が多いが、多めの水分摂取を心がけています。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後は口腔ケア施行、汚れたときはその都度の清潔保持に努めています。		夕食後の口腔ケアの実施と義歯を洗浄し翌朝に返し装着しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方にあった食事量や食事形態にしています。		その方にあった食事量や食事形態にしています。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関するマニュアルを全職員が見えるところに明示しています。		各食事、おやつ等外出時には必ず手洗い、うがいを行っています。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾の除菌、当ホームは毎日一日分ずつの食材の買物に行っています。		新鮮な食材を食べて衛生面にも十分に注意しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	気軽に誰でも出入りできるようになっています。		近隣の人たちにはいつでも立ち寄ってお茶など飲んでいただいています。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関付近には季節の花を飾り畑には旬の野菜などを植え季節を感じていただけるよう努めています。		長期生活されている方は帰宅願望はなくなり居心地が良いと話されています。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中はほとんどの入居者の皆さんがホール内で過ごされているが、夕食後になると個々に居室に戻り身の回りの整理整頓をしている方もいます。		個人個人のペースを大事にしたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで入居者が使用してきた寝具、家具等をそのまま持ってきていただき使用していただいています。		慣れた環境作りの中でゆったりとして生活していただいています。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝居室の窓を開けて換気を行っています。		快適な生活ができるように適度に冷暖房の温度調節に配慮しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	朝の掃除等手伝っていただき入居者の出来ることを行っています。		強制はせず自然に任せています。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	その方の持っている能力を伸ばしなるべく自立心を持たせてあげたい。		見守りをしてできないところを支援しています。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先や裏庭に椅子を出してお茶飲み等をしています。		今後も継続していきます。入居者の皆さんも対話がはずんでいます。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入して下さい。)

アットホームを目指して、職員一同一丸となって入居者の皆様に、満足した日常生活が出来るよう支援していく。